



まちとわたしとあなたプロジェクト2025



【資料 1】

2025

AWARDアンケート結果

2026.2.23開催





概要

目的

- 1) ワークショップで醸成された参加者同士の「つながり」をより強くする
- 2) 他会場の参加者や発表内容を共有することで生まれる、新たな気づき・つながりを醸成する
- 3) 最優秀アイデア「BEST アイデア」を決め、次年度事業実施を検討する

開催日時

令和 8 年 2 月 23 日（月・祝） 午後 4 時～ 6 時 @スイングレインボーサロン

参加者

20名（託児 1 名利用）

内訳）まちプロ参加者18名、前年度参加者 2 名
関係者）市長、商連正副会長 4 名、関係者 2 名

内容

第一部 まちプロ THE AWARD

- まちプロの事業概要説明
- ワークショップ各会場での発表振り返り
- 各会場での「Good アイデア」の発表（3 グループ）
- 「Good アイデア」への投票 & 最優秀アイデアの決定
- 表彰式、総評、記念写真撮影

第二部 まちプロ THE 交流会

- 各グループでプロジェクトの振り返りなどを対話



当日の様子



当日の様子





まちとわたしとあなたプロジェクト2025



当日の様子





まちとわたしとあなたプロジェクト2025



当日の様子



発表内容 最優秀アイデア

「いらっしゃいませ」を「〇〇さん、こんにちは」に。



「いらっしゃいませ」を「〇〇さん、こんにちは」に。

承認とつながりで商いを動かす「武蔵野市商店会まちづくりプロジェクト 2026」

たった一言の声かけが、商店会の未来を変える

© Nishiochikawa M.

「名前を呼ぶ」がまちの温度を上げ、商いを動かす

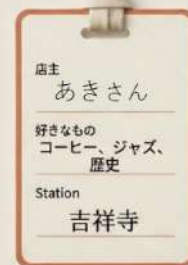
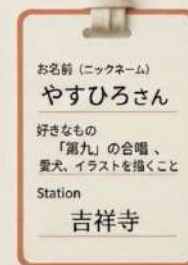


お互いを認知 → まちの温度が上がる → リピートが増え、商いが動く

STEP 1

呼びかけを「仕組み」にする「通（つう）カード」

「名前を呼ぶ」を偶然ではなく、デザインされた仕組みにする。



【使い方】

カードを提示して買い物

店主は必ず名前で声をかける

「いらっしゃいませ」ではなく
「〇〇さん、こんにちは！」

発表内容 優秀アイデア

旅する商店街



商店街が「旅」をするメリット



【柔軟性】

特定のハコが必要ない

武蔵野プレイス、むさしのエコリゾート、各地区コミセン、公園や広場、大学のキャバス、増穂浴場、ディグボウル、農園など街のあらゆる場所を活用し、その日限りの商店街にできる



【広報効果】

動く広告塔

イベントを「出口」にせず、実店舗を知ってもらう「入り口」にし、普段商店街に来られない層に様を知ってもらい、実店舗への来店を促すきっかけを作る



【負担軽減】

無理のない仕組みで、商店街の「活力」を維持

運営管理・人員配置・時間的拘束といった負担が、商店街側に負担がかからない設計

毎日おまつりシティーむさしの



提案

毎日おまつりシティーむさしの



商店会の嬉しい

行政などの支援：仕組みづくり、周知広告が必要

基本は自走！！

祭りの盛り上がりとともに、会員・協力者も増え、活気づく

祭りを介して、商店街の中で市民が参加できる「場づくり」ができる。目玉になるイベントも一緒に考える！！

商店街全体の活性化！

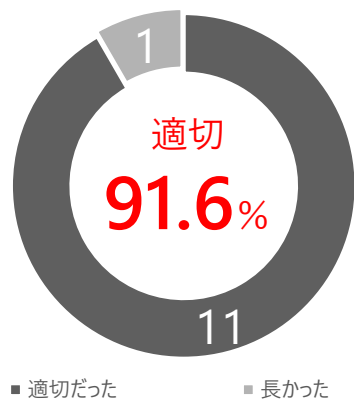


アンケート結果

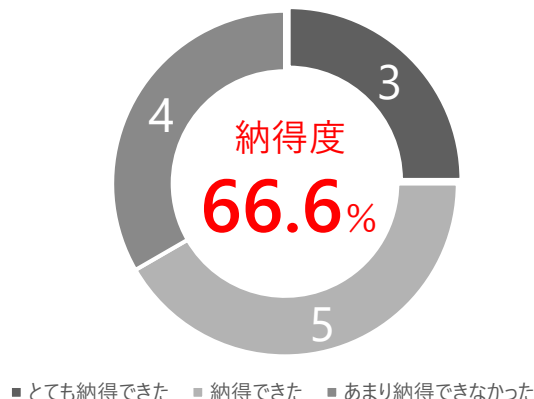
回答数 18名

1) 【第一部】発表グループの方への設問 回答12名

発表までの準備期間について

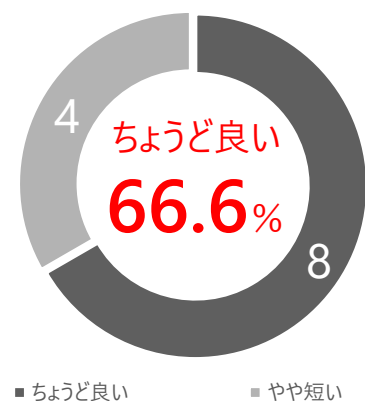


審査基準について

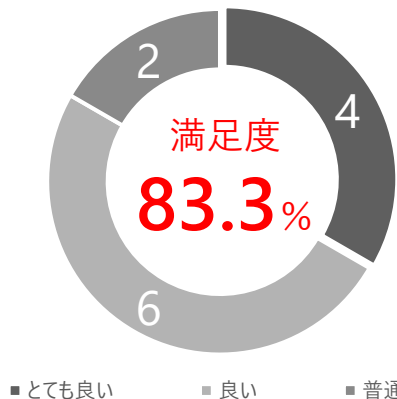


- ・ 人とつながること、そして新しく知り合うということは、とても魅力的だと感じました。
- ・ 主体はどこか？具体的な内容か？おっしゃる通りで、とても納得できるのですが、負けて悔しかったので、ワクワクする内容かが大事じゃんと、負け犬の遠吠えをさせてください。
- ・ 勝ちたかったです！
- ・ 事前に評価のポイントなどを明らかにしていただけるとよかったです。
- ・ 聞いていたよりかなり実現可能性を重視されるなと感じました。

発表時間について



満足度について(5段階評価)



- ・ 自分達が考えたことを形にして発表する機会があり、それに対してフィードバックをいただけることが、非常に有意義だと感じました。
- ・ 席の位置から、プレゼン画面がよく見えなかった。プレゼン資料を、紙かデータで配布してほしい。審査で誰がどこに投票したか不明だったので、知りたかった。（席の位置のせいか、見えなかった）入れてくれた方の感想を、とても聞きたかった。
- ・ それぞれの発表も素晴らしかったし、審査も実現に向けて応える内容でした。学びになりました。ただ、発表としては正直思っていた場ではなかったです。産業振興課さんと、審査員の方々、発表グループでそれぞれまちプロに対する事前の認識が違ったのかなとは思いました。今日は企画の叩き台を作って発表すると聞いていて、他のグループの方もそう言われていました。質疑応答がある事もお聞きしていなかったので、実現に向けて具体性をあんなに問われるとは思いませんでした。私は商店会の人間なので参考になりましたが、学生さんや市民の方の発表に対してアイデアの感謝はすべて具体性を問うのは少々失礼だったかと思います。
- ・ 良い仲間に巡り会えました。
- ・ 普段会えない方と会えてよかった。
- ・ 色々な考えに触れて参考になりました。

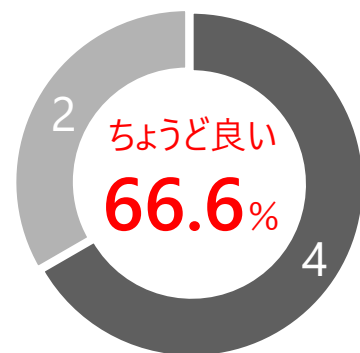


アンケート結果

回答数 18名

2) 【第一部】発表グループ以外の方への設問 回答 6 名

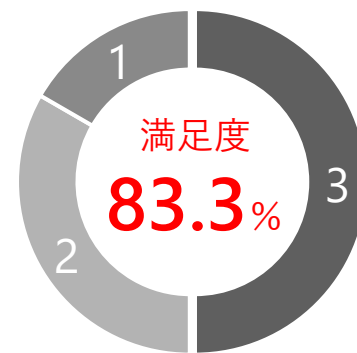
発表時間について



■ ちょうど良い ■ やや短い

- 全体的に発案にとどまり、自案のどメリットや新たに浮かんだ疑問に触れることがなかった。ただ一回の集まりで完結は無理がある。
- もう少し報告者の話を聞きたかった。
- 3チームとも素敵なプレゼンでした。市長自ら、質問や講評されるのは、発表者にとって、とても良い印象だったと思います。
- 限られた時間の中、非常に良かったと思います。

満足度について(5段階評価)



■ とても良い ■ 良い ■ 普通

- 発表者以外の参加者が少なく残念だった。アワードでは、グループ単位での集まりと交流会があったので、募集時点で基本的にアワードまで、必須参加とすると良いと思います。
- 発表を5分ではなく、もう少しあった方が良かったのでは？

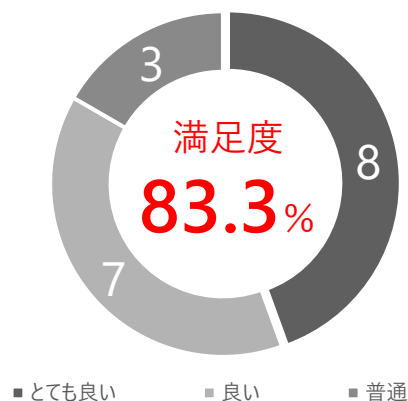


アンケート結果

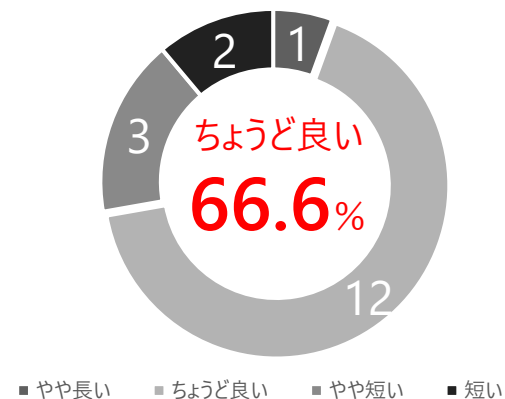
回答数 18名

3) 第二部

満足度について(5段階評価)



時間設定について



- ・ 次回に向けて、また皆さんとご一緒できればと願っております。せっかくの機会ですので、他の方々と交流し、新しい出会いがあることは非常に魅力的だと感じています。
- ・ いろいろな方とお話をできたので良かったです。
- ・ もう少し時間があれば、他のグループの方とお話出来たかと思いましたが、振り返りが出来て良かったです。
- ・ 楽しかったです。
- ・ より多くの方のお話を伺えて面白かったです。
- ・ 他のチームとも話せばよかったなーと

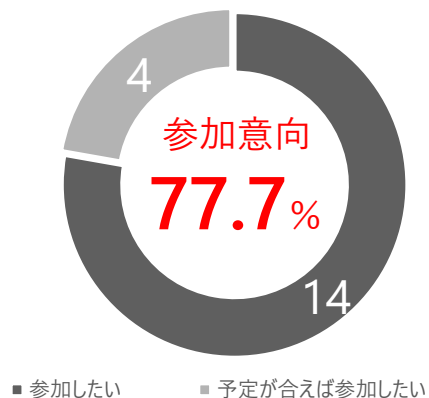


アンケート結果

回答数 18名

4) 全体を通して

次回も参加したいですか



- 今回ならではの貴重な出会いに恵まれました。普段の生活では接点のないコミュニティが広がり、大変有意義な時間となりました。このイベントを通じて、素晴らしい方々にご縁をいただけたことを心より嬉しく感じております。
- なんだかんだで、とても楽しかったので。ただ、負けて悔しかったので、もう参加したくない気持ちもあります。
- つながりが出来て、学びにもなり、楽しかったからです。
- もっと武蔵野市を良くしたい！
- 街の人と繋がりたいから
- 地域で色々なイベント、企画に関わっております。今後の展開を考えたとき、できるだけ色々な世代、色々な地域の方の意見を伺いお知恵を借りていきたいと考えます。その意味で街プロと言う場には是非参加させて頂きたいと存じます。宜しくお願い致します。
- 人との交流を含め新しい学びや出会いがあるから。
- 街を一層楽しくして、働く人も来る人も住んでる人もみんなが大事に出来たらいいです



アンケート結果 回答数 18名 4) 全体を通して

今回の「まちプロ2025」、総じて得られた学びや気づきについて

- お互いの情報交換などができ、新たな「つながり」もうまれ、その意味での効果もあった街プロだと考えます。事前の準備、お手配さぞ大変だったかと存じますが、是非また来年度も形式を少し再考して頂き、開催される事をお願い致します。また、学生さん達が参加しやすい時期などもご配慮いただけたらと存じます。
- 挨拶と基本は、時代が変わっても変わらないものだと思えました。それにかかる労力とリターンを考えれば、挨拶をすることや相手の名前を呼ぶことは、非常に魅力的であると再確認いたしました。
- 大学生と交流できたことには、いろいろ発見がありおもしろかった。
- 武蔵野市のいろいろな情報を聞くことができた。多くの経験を持つ方々と交流することができた。
- 全体を通して、自分自身の成長を実感できる非常に有意義なイベントでした。もともと発表が得意だったわけではありませんが、自ら発表者を名乗り出て挑戦できたことは、大きな一歩だったと感じています。本気でこの街をより良くする方法を考え続けた時間は、武蔵野市役所を志望している自分にとって、将来につながる貴重な経験となりました。また、関わった全ての人が武蔵野市をよくしたいという熱い思いをもっており、その熱量に触れられたことは自分にとって大きな刺激となりました。一人の思いではなく、さまざまな立場の人が同じ方向を向いていることを実感し、地域づくりは人の思いによって動いていくのだと改めて感じました。この度は企画していただきありがとうございました。
- まちを事を想っている人がこんなに居るんだと感じました。まだまだお仲間が増えそうでワクワクしています。
- 大人になってもこのようなつながりや一体感が持てるイベントはとても楽しかったです。
- 今日だけの参加でしたので、学びというほどのことは、書けませんが、皆さんの熱量を感じられてよかったです。
- 色々な発想が新鮮でよかったです。
- 色んな人の視点でまちのことを知れたり、話したりすること自体が大事だと感じました。
- 素晴らしい仲間と繋がれて、感謝です。
- 継続した活動につながるようにしたいです。
- みんなで話し合い、案を出せば、もっと良いアイデアや発想がある事に気づきました。



アンケート結果 回答数 18名 4) 全体を通して

今後ワークショップで取り上げてほしいテーマなど

- 人をつなげるプラットフォームづくり。イベントを考える前にまず土台づくり
- 市民が自分の住む街に対して持つ『誇り』や『愛着』を育む『シビックプライドの醸成』に向けた施策を考える。例えば、武蔵野市の魅力を継続的に発信していただくため、一過性のイベントに留まらず、日常的にSNSへ投稿したくなるような『常設のフォトジェニックなスポット』の整備・活用について検討する。
- 市役所諸手続きのIT化について。
- 「つながり」はとても良いテーマなので、商店会内のつながりや、商店会同士のつながり、商店会と学生のつながり、商店会と市民のつながり等色々な角度のつながりをテーマにされると面白いと思いました。テーマはどれかに絞った方が良いでしょう
- 地域ポイントやアプリなどデジタル施策